

安達地方の消防



あだちちほうこういきぎょうせいくみあいしょうほうほんぶ
安達地方広域行政組合消防本部

けんない しょうぼうほんぶ 県内の消防本部

令和7年4月1日現在 げんざい



ふくしまけん しょうぼうほんぶ
福島県には、12の消防本部があり、おおよそ2500
人の消防士が防火の仕事をしています。
あだちほうこういさぎょうせいきのみあいしょうぼうほんぶ
「安達地方広域行政組合消防本部」はそのうちのひとつ
で、121人の消防職員が活動しています。
また、ふくしまけん しょうぼうぼうさい
福島県でも消防防災ヘリコプター（福島空港）や
ドクターヘリ（県立医大）があり、けんないかくち とを
活躍しています。



ドクターヘリ



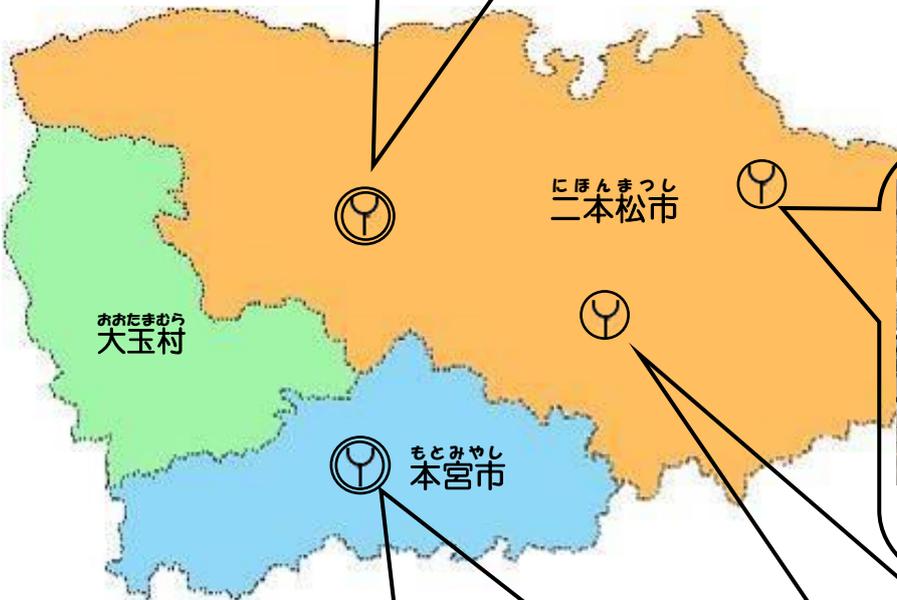
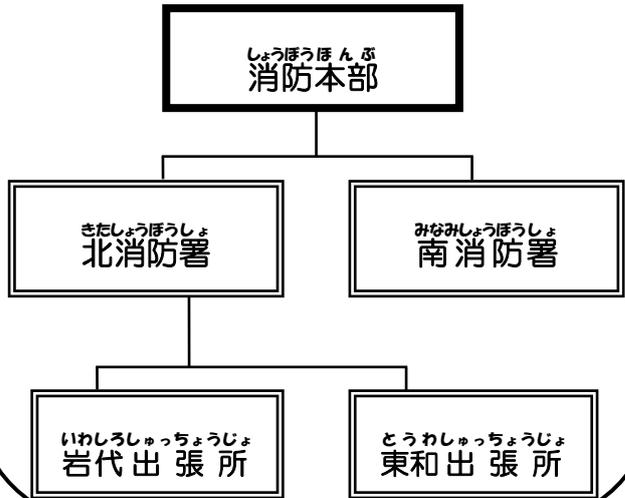
しょうぼうぼうさい
消防防災ヘリコプター

あだちほう しょうぼうしょ しゅつちようじょ
安達地方の消防署（出張所）のあるところ



しょうぼうほんぶ きたしょうぼうしょ
 消防本部・北消防署

しくみ



きたしょうぼうしょ とうわしゅつちようじょ
 北消防署 東和出張所



みなみしょうぼうしょ
 南消防署



きたしょうぼうしょ いわしろしゅつちようじょ
 北消防署 岩代出張所

しょうぼうしょ いちにち
消防署の一日



8:30



12:00 13:00

17:30 18:30

<p>きんむ 勤務 こうたい 交代</p>	<p>くるま きざい 車や器材などを てんけん 点検する。</p>	<p>くん れん 訓練 こうじょう 工場などの ちやうさ 調査</p>	<p>昼食</p>	<p>くん れん 訓練 しょうかせん ぼうかすいどう 消火栓・防火水槽・ どうろ ちやうさ 道路の調査をする</p>	<p>夕食</p>	<p>しょうらい 書類の せいり 整理など</p>
-----------------------------------	--	---	-----------	--	-----------	---------------------------------------



22:00

0:00

2:00



4:00

6:00

7:30

8:30

<p>こうたい 交代でわりあてられた時間の</p>	<p>じかん つうしんきんむ 通信勤務につきます。</p>	<p>せいぞう 清掃や おせんき 無線機の テストなど</p>	<p>きんむこうたい 勤務交代 (次の人と交代する)</p>
<p>つうしんきんむは じかん 通信勤務は2時間です。そのほかの時間は仮眠をします。</p>			



かみんしつ
仮眠室

すぐにしゅつでできるよ
うに活動服を着たま
ま仮眠します。

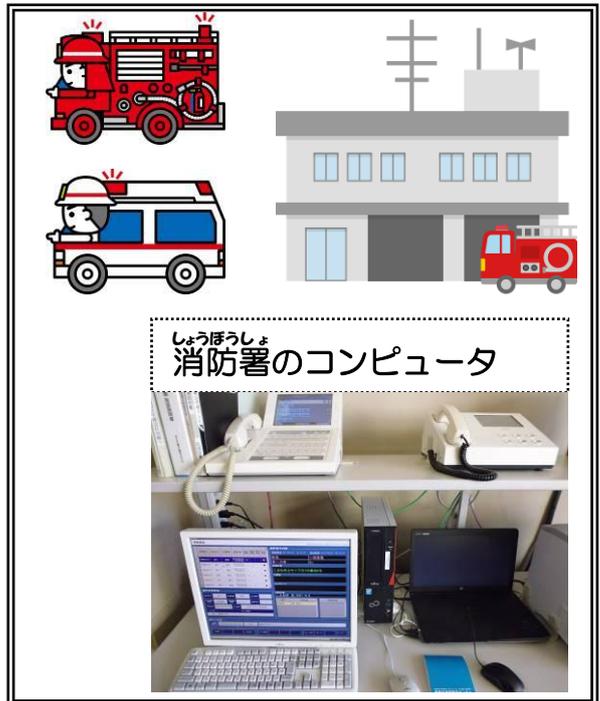
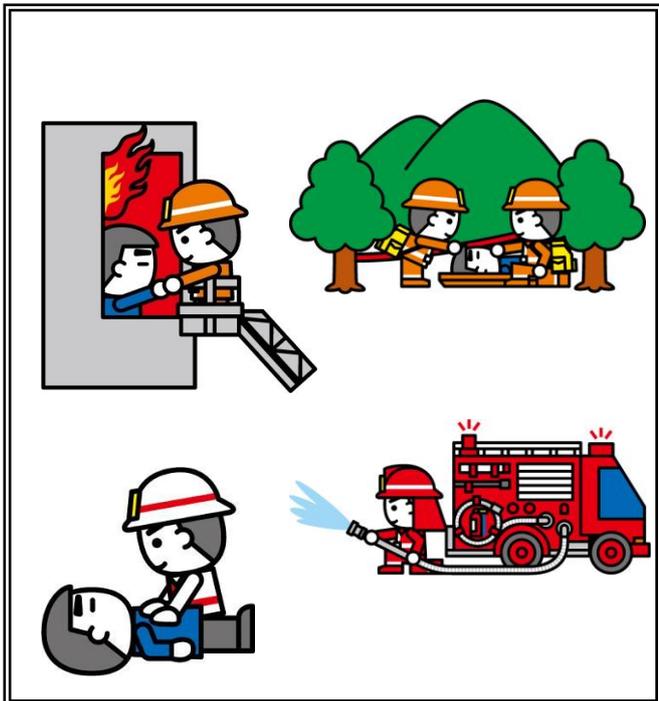
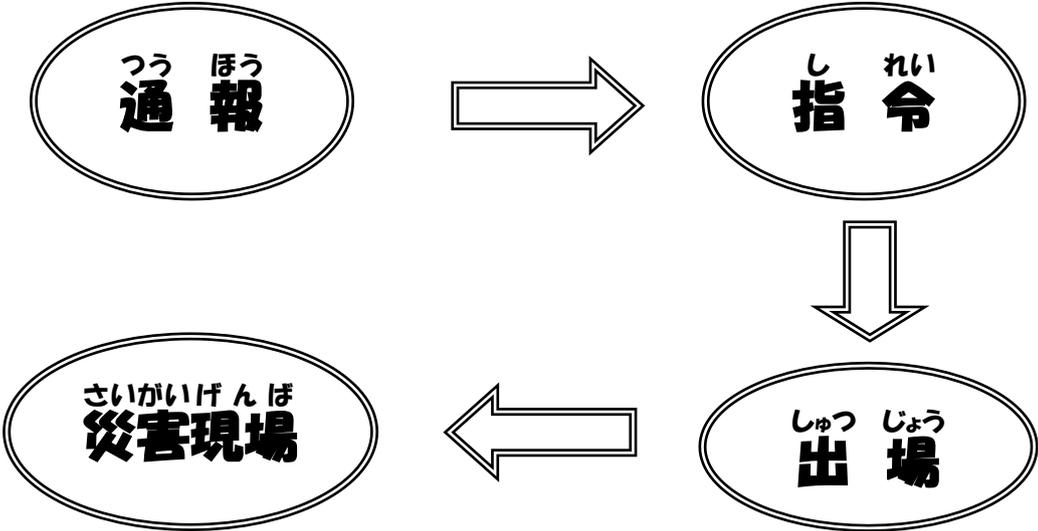


つうしんきんむ しょうむ
通信勤務の様子

※ かみんとは、すぐに起きることができるように「あさく眠る」ことです。

通報から出動の流れ

れいわ ねんちゅう ほんつうほう かい
令和6年中の119番通報は6658回です！



しょうぼうしょ
消防署にはどんな車があるか見てみよう



しきしゃ
指揮車 (2台)

かさいげんばやじこげんばでしきするひとのります。

ポンプ車 (4台)

しょうかせん ぼうかすいぞう いけ などから水を吸い上げて

しょうか 消火したり、タンク車に水を送ったりします。



水を吸い上げるホースです。



水を送る強さを見るための計器があり、計算しながら放水しています。



タンク車 (2台)
(水そう付きポンプ車)

水をつんで火災現場に近づいて消火に当たります。

ホースつなぐところは、車の左右に合わせて4つあります。

この車にはおよそ2.0トンの水をつんでいます。)

火災のときは、いろいろな消防車が火災現場にかけつけます。





かがくしゃ
化学車 (2台)

みずでは消えない油火災のときなど、泡を
作り消火します。

しきざいうんぱんしゃ
資器材運搬車 (1台)

川や池で起きた水上事故に使うポート
など、大きなものを運びます。



きゅうじょこうさくしゃ
救助工作車 (2台) 火災や洪水、車の事故など、人を助けるための
道具(約70種類)をつんで現場にかけつけます。



クレーンで重いものを持ち
上げることができます。





はしご車 (1台)

はしごをのばすとおよそ30メートルの高さまでとどきます。はしごの先端から水を出して消火したり、逃げ遅れた人を助けたりします。

はしごの先端には、大人3人まで乗せることができます。



火災のときに使うホースと管そう



管そう

ホースの先端に取り付けて使います。水をまっすぐ飛ばしたり、霧状に広げて放水することができます。

ホース

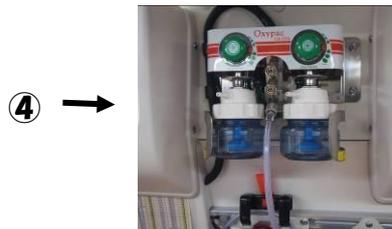
1本の長さは20メートル
直径50ミリと65ミリの2種類
重さは約3キロから5キログラム
ホースや管そうと簡単につないだり、外したりすることができます。

救急車 (6台)

あだちほう きゅうきゅうしゃない いちれい
安達地方にある救急車内の一例



- 救急車には、救命士などの救急隊員が3人ほど乗って出場します。
車の中には、応急手当をする器具のほかに、無線機や携帯電話もあり、
病院と連絡をとりあって、少しでも早く治療が受けられるようにしています。



- ① 吸引器 : 口の中やのどにつまった食べ物を吸いとる。
② 生体情報モニタ : 心電図 (心臓の動きを見るもの) の記録や、血圧を計る。
③ 除細動器 : 電気の力を使って不規則に震えている心臓を正常な動きにもどす。
④ 吸入ユニット : 酸素マスクなどをつないで酸素を与える。

これらのほかにもおおよそ30種類の応急手当資器材が救急車に備えてあります。

活動時の服装

（体を保護するため、手袋、ヘルメットなどを必ず着用します。）

火を消すときの消防隊の服装



空気呼吸器
といます。
重さはおよそ10kg
あります。

救助（レスキュー）隊の服装



消火に使う「消火栓」「防火水そう」

地上に出ているもの



地中にうめられているもの



地中の防火水そう



令和7年4月1日現在

	にほんまつし 二本松市	もとみやし 本宮市	おおたまむら 大玉村	計
しょうかせん 消火栓	1094	584	390	2068
ぼうかすい 防火水そう	720	255	62	1037

かさい ぶせ しごと 火災を防ぐ仕事

けん さ 検 査

たてもの ひつよう しょうぼうようせつび ただ つ けんさ
建物に必要な消防用設備が正しく付いているかを検査します。



かさい げんいんちょうさ 火災の原因調査

かさい お げんいん しらべて おな
火災が起きた原因を調べて、同じような
かさい お よぼう しごと
火災が起きないように予防する仕事です。



ほうかしどう 防火指導



ぼうかきょうしつ や びんなんしんれん の ほうだん など を し ま す 。
しょうぼうきの とりあつかい や、かきりになっ た と き に あ わ て す
びんなんす る こ と が で き る よう に ほうだん し ま す 。

また、高齢者で一人暮らしをしている人の家に
訪問し、火災にならないように指導しています。

あだちちほう しょうぼうしよ しゅつちようじよ しょうぼうしや かず
 安達地方の消防署（出張所）にある消防車の数

	きたしょうぼうしよ	いわしるしゅつちようじよ	とうわしゅつちようじよ	みなみしょうぼうしよ	計（台）
	北消防署	岩代出張所	東和出張所	南消防署	
きゅうきゅうしや 救急車	2	1	1	2	6
ポンプ車	1	1	1	1	4
タンク車	1			1	2
かがくしや 化学車	1			1	2
きゅうじょこうさくしや 救助工作車	1			1	2
はしご車	1				1
しきしや 指揮車	1			1	2
ささつこうほうしや 査察広報車	3	1	1	2	7
しきざい うんぱんしや 資機材運搬車	1				1
ボートトレーラー				1	1
計（台）	12	3	3	10	28

※救急車は6台のほかに非常用のものが1台あります。

しょうぼうだん
消防団とは

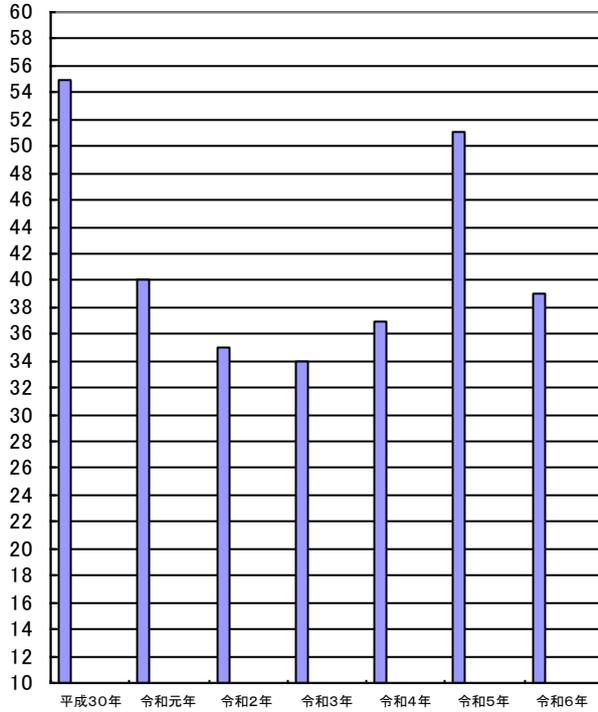
しょうぼうだん ひと
 消防団の人は、いつもは会社で働いたり、お店や農家などの仕事をしていますが、
 かさい かがい とき しゅつどう
 火災などが起きた時には出動します。また、しょうぼうしよ ちから あ
 消防署と力を合わせて「火の用心」を呼び
 かけるなど地域の人たちを守るための仕事をしています。

（令和7年4月1日現在の数）

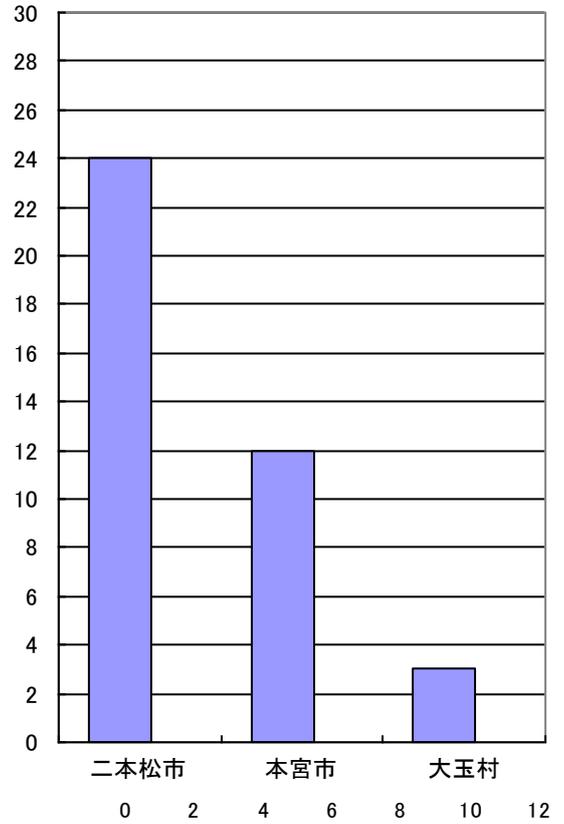
	にほんまつし 二本松市	もとみやし 本宮市	おおたまむら 大玉村	計
人員（人）	1393	436	153	1982
車両（台）	103	36	17	156

火災の件数

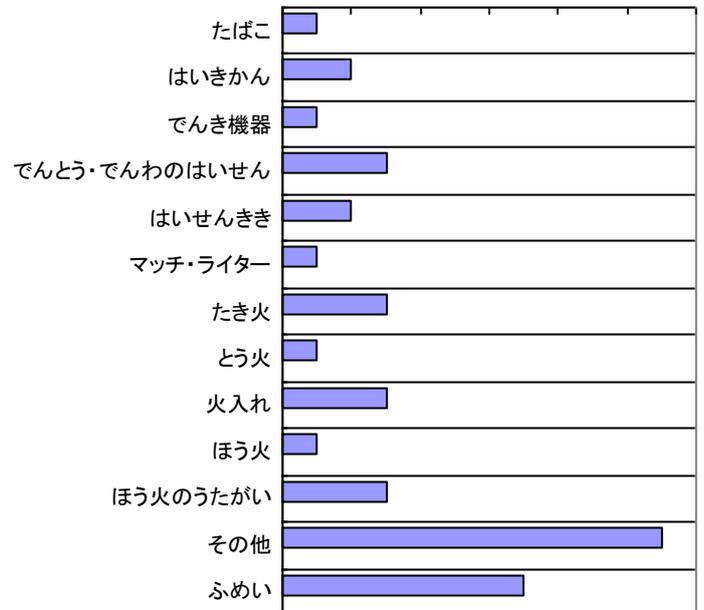
過去7年間の件数



市村ごとの件数（令和6年中）



燃えたものごとの件数
（令和6年中）



火災の主な原因
（令和6年中）

救急車の出動件数と事故種別

安達地方では、令和6年中の1年間に、救急車は4594件出場しました。

これは、1日あたり約13回出場したことになります。

	火災	水なん 自然災害	交通 事故	仕事の中 ケガなど	運動中の ケガ	その他の ケガなど	急病	その他 転院搬送など	計
二本松市	5		108	39	26	469	1825	323	2795
本宮市	2		75	24	12	194	951	132	1390
大玉村	1		22	2	2	69	271	3	370
高速道路			24			4	8	1	37
その他の地区			2						2
計	8	0	231	65	40	736	3055	459	4594

(単位：件)

安達地方では、6台の救急車がいつでも出場できるようにしています。

(北消防署2台 南消防署2台 東和・岩代出張所 各1台 ※非常用救急車1台)



病気で苦しんでいる人やひどいケガをしている人を見つけたら、近くの大人に知らせるか、119番に電話してください。

※ 消防職員は、普段から住民の方に対し人工呼吸や応急手当のやり方を教えています。



訓練など



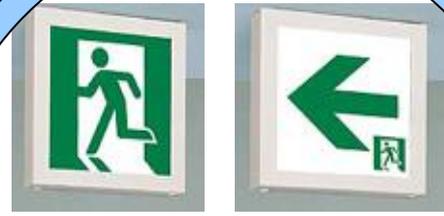
左の写真は、訓練塔です。

右側の建物は17メートルの高さがあり、ロープで昇ったり降りしたりします。また、左側の建物との間にロープを渡しそれを行き来するなどの訓練をしています。



おぼえておこう

煙は、1秒間に3～7メートル上に昇り、0.3～1メートルの速さで横に広がります。有毒ガスを吸い込むと、体が動かなくなります。(人の歩く速さは、1秒間に0.5メートル)



もし、とっさに建物の中から外へ避難するときは、非常口のマークを指しでてすばやく出ましょう。

◎ 消火器の使い方

火災を見つけたら、まずは「火事だー!」と大きな声で叫び、周りの人に知らせましょう。



消火器の放射時間は10秒から15秒ほど、放射距離は3から5メートルほどです。

火災・救急の電話は119番です。

119番通報すると指令センターに電話がつながります。聞かれたことに対して一つ一つ落ち着いて答えましょう。

はじめに、「火災」、「救急」のどちらなのかを伝えましょう。次に、住所・名前※自分の家ではないときは目標(近くのお店の名前や建物など)・電話番号やどうしたのかを伝えてください。

※万が一のとき、自分でも通報ができるように、普段から自分の家の住所や電話番号を言えるようにしておきましょう。

ボクはとりカエル。

じゅうたくようかさいけいほうき
「住宅用火災警報器」

べんきょう
についていっしょに勉強しよう！



じゅうたくようかさいけいほうき
Q.住宅用火災警報器ってなに？

いえ なか かさい あい けいり ねつ かんち けいほうおん な
家の中で火災が起きたとき、煙や熱を感知して、警報音を鳴らし、火災を知らせてくれるものです。

Q.どこにつければいいの？

ねる へや と、ねる へや が 2 階のときは階段に必ずつけなければいけません。

だいどころ などにもつけるとさらに安心です。



Q. 1度つければもう安心？

じゅうたくようかさいけいほうき は、ほんとし に 1 回点検 (ボタンを押すか、ひもをひいてメッセージが流れるか確認する)、10年を
めやす ほんたい こうかん をしましよ。

おうちのひとといっしょに点検してみよう。

みんなの大切な命を守る警報器。

10年たったらとりカエル。

おぼ
覚えておいてね！



メモ

かなら まも

必ず守ろう！

^{ひあと}
1 火遊びはしない。

^{はなび} ^{おとな}
2 花火をするときは大人といっしょにする。

^{ちか}
3 ストーフなどの近くに、ものをおかない。

